

2019.12月

銀の汗 Again

A面

ゴミ0ミッション～UNは 廃材減少 工法

【在来工法の廃材】



施工後荷降ろし・缶つぶしあり



つぶし缶等が大きな廃材となります

2017年末より中華人民共和国を始めとする外国政府により使用済プラスチック等の輸入規制により、国内処理施設の廃プラスチック処理量が増加。また昨今の災害ゴミの影響もあり、今後処分費のコストアップが懸念されています。

ウレタン施工の在来工法も、材料の荷上げ・屋上でのネタ場確保、そこでの攪拌作業・施工後の荷降ろし・缶つぶしなど雑作業が発生し、廃材の処理費もかさみます。

**そこで、ご提案・・・
UNマシンレンタルシステムは殆ど
ゴミが発生しません！**

サラセーヌKドラム1セット(主:180 硬:360)540kgは
汎用缶22セット分相当
(主:8 硬16)24kg
廃材時のつぶし缶は
44缶となります。

**UNマシンは1セット
内帯袋が3袋のみ廃材**

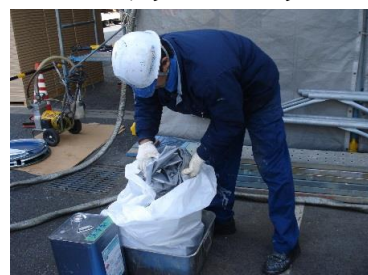
【UN工法の廃材】



内帯袋を剥がす



カッターで切り材料を移し変える
(材料にムダ無し)



ゴミは内帯袋のみ
分別完璧！

【現状の産廃ゴミ例】



ウエス・刷毛・軍手など分別なく捨てられ、処理コストアップとなる。特に金属缶(一斗缶)での分別作業ある場合は高コストになります。

しかも、分別は白いビニール袋の中に材料を使い切った、淡いグレーのビニール袋のみ。完璧な分別になっています。

分別推進！
産廃チームによるゴミの収集運搬においても分別(刷毛・ウエス等混入させない)する事によりコストダウンできる旨お知らせさせて頂いています。

UNマシンは時代に先駆け、廃材減少ゴミ0ミッションを進め、処分費コストダウンへ繋がるように、今後の循環型社会にマッチした工法で前進しています。

フルハーネス装着もUNならラクラク施工



「父ちゃん、大リーグ養成ギブスがきつくて体の自由が利かないよ」
「バカヤロウそんな事で一人前の防水施工ができるか」
「でも、UNマシンを使った施工なら荷上げ・荷降ろし・缶つぶしも無いしマゼラーを使った攪拌作業も無いんだ父ちゃん」
「なに～それじゃ安全も最大限確保され、施工性もアップするって事か・・・」
「よーしこれからはUNマシンで施工あるのみだ～」
「とうちゃん、俺やるよ、輝く防水の星目指して」
♪ 銀の汗流せ 涙をふくな
ゆけゆけ～UN、どんとゆけ～♪ (つづく)

西濃運輸UN現場にて

2019.12月

銀の汗 Again

B面

産廃車両等紹介



2トン車(パワーゲート付平積みトラック
(標準積載量:4m³)
長さ:468cm 幅:169cm 高さ:196cm



4トン車コンテナアームロール車
(標準積載量:8m³)
長さ:590cm 幅:220cm 高さ:246cm



4トンコンテナを降ろす様子

設置に必要なスペース
高さ:3,100mm
奥行:10,500mm



2トン車:空ドラムMAX23缶積込可



4トン車:空ドラムMAX38缶積込可



【親方3人衆】

高さ 169cm・179cm・167cm
重量 112kg・109kg・72kg
型式 アンコ型・アンコ型・ソップ型



作業服チラシ

提案:秋冬フニフォーム

春夏・秋冬シーズンに、特販作業服担当は、チラシを企画後、納品書等に封入し、お客様からチラシ裏の発注書記入頂きます。

この時期は、朝出勤すると、ご注文のFAXが届いています。お〜っ FAXを見るたびに、「ヤル気わくわくワークマン」と口ずさみ発注体制に入ります。

夏は空調服、冬は保温アルミ付生地など、最新のトレンド品取り揃え、ご提案させて頂いています。

UNマシン.COMサイトが起ちあがりました
ブログ銀の汗にUNの活動状況一部掲載しています

www.un-machine.com

yahoo検索ワード第1位(ウレタン・省力化など)

銀の汗バックナンバーも掲載

UNマシンにて検索

【sweat of silver】

新宿紀伊国屋ホールにて浅田次郎さんが講演されたビブリオバトルに始めて参加、ビブリオバトルとは1.面白い本を見つけ集合

2.魅力をひとり5分で紹介(2分ディスカッション) 3.どの本を読みたくなったか投票でチャンプ本決定

浅田次郎さんは40過ぎて作家として認められるまで、多くの仕事をこなし、くたくたになって帰り、それから深夜原稿用紙にむかっても自分の心が荒れているのを感じ、そのことで手の中にある美しい砂が1日のうちに指の間からサーッと落ちてしまい

「あっ、今日これしか残ってないよチクショー」というような感じでペンを持ち、わずかな砂粒を大切にしておいたそうです。

「自分の中に残っている美しいものを、どのくらい大切にしていけるか」心が荒れ、折れ、上手いいかない中で、懸命に大切なものだけは、絶対大切にしたいものを守り続け、書き続けたそうです。

ビブリオバトルより、初期の浅田作品「プリズンホテル」を薦められ、読んだ所、エネルギーとキツイ笑いと荒削りの描写の中

見事にすでに各主人公が、自身の大切にしている、これだけは譲れないと思う砂粒が見事に描かれています。

そして、深く人間を見る目の優しさが滲んできます。

AI.ロボット技術がますます進み、省人化、効率化が重視される中

UNオペレーター達も、現場で蒸発する銀の汗を流しながら、AIでは解析不可能な、決して攪拌時シンナー吸込みに拠る原因ではない

荒削りな天然の笑いを誘っています・・・そして現場が静かになります。